

バレンタインデーチョコレートガイドの採点方法

1. 概要と目的

バレンタインデーのチョコレート成績表は、持続可能性に関する重要な問題について、日本のチョコレートメーカーをランク付けし、評価するものです。マイティ・アース（米国）、グリーン・アメリカ（米国）、インコタ（ドイツ）、ビー・スレイバリー・フリー（オーストラリア）の4つの非営利団体が協力して包括的な調査を行い、日本の大手チョコレートメーカーにアンケートを送付し、各企業を採点しました。これらの団体は、世界的規模のチョコレートガイドも毎年発行しています。2021年3月16日グローバルガイドを公表します。またマイティ・アースは、ヨーロッパと日本におけるカカオの持続可能性プラットフォーム（ISCO）のパフォーマンスをランク付けするための成績表を2021年の3月末に公開予定です。

成績表の焦点は、特に世界のカカオの約70%が生産されている西アフリカでの環境とカカオ農家の生活水準を改善するための企業の取り組みを評価し、認識することです。二大生産国であるコートジボワールとガーナでは、主にカカオ栽培に関連した農業によって、熱帯林の85%以上が失われています。農家の収入は1日あたり1ドル以下の貧困線以下で生活しています。そのため、農家は子どもの労働力に頼り、中には人身売買される子どもや、奴隷同然の状況で働かされる子どもたちもいます。シカゴ大学のNORCによる西アフリカの児童労働に関する最新の報告書では、カカオ農園で働いているそうした子どもたちは156万人もいると書かれています¹。カカオ農園によって多様な生物が住む森林が消失すると土壌肥沃度も失われるため、農薬、殺菌剤、肥料、その他の有害な化学物質の使用が増加し、妊婦や子どもを含むカカオ農家の健康に深刻な影響を与えています。

¹ <https://www.norc.org/Research/Projects/Pages/assessing-progress-in-reducing-child-labor-in-cocoa-growing-areas-of-c%3%B4te-d%E2%80%99ivoire-and-ghana.aspx>

この日本独自の成績表の得点は、2021年春に公開される国際的なチョコレート成績表にも含まれる予定です。この毎年の成績表は、最も影響力のある業界最大手かつ最も重要な企業に焦点を当てています。今年のグローバルな成績表には、ヨーロッパ、米国、オーストラリア、ニュージーランド、および日本の主要な製造業者、加工業者、貿易業者、小売業者が含まれています。

この調査は、デューデリジェンスへの対応、透明性とトレーサビリティ（生産地の追跡可能性）、森林伐採と気候、アグロフォレストリー、生活賃金、児童労働、および化学物質管理のカテゴリーを対象とする質問で構成されています。これらは、今日のチョコレート業界が直面している最も差し迫った持続可能性問題の一部です。調査の回答に加えて、検証手段の1つとしてマスコミによる報道を利用しています。

各企業は、個々のカテゴリーごとに得点を獲得します。これらの得点をまとめて総合評価が決定されます。ほぼすべての質問で高い得点を獲得した企業には、赤いハートの評価としました。一部の分野で高い得点を獲得したが他の分野では得点が低かった企業には、黄色の評価としました。方針内容に改善の必要がある企業は紫の評価としました。回答しなかった、またはサプライチェーンでの役割に責任を負わなかった企業には、青の割れたハートの評価としました。

2. 評価のカテゴリー

人権リスクの特定：

国連の人権理事会が2011年6月に承認した『国連のビジネスと人権に関する指導原則』では、各企業がビジネス業務における人権侵害の予防、対処、および対策のために従うべき一連の指針が定められています。このカテゴリーにおいては、3つの分野で回答を分析しました。

- ビジネス業務におけるデューデリジェンス確保のために各企業が取り入れたポリシー

- ビジネス業務における人権と環境への大きなリスクを見定めるために各企業が行ったリスク分析
- そうしたリスクの予防および回避のために各企業が行っている対策

トレーサビリティと透明性（生産地までの追跡可能性）：

企業がカカオの産地を把握していなければ、児童労働や森林破壊、その他の人権侵害などの問題に購入しているカカオが関与していないことを十分に保証することはできません。トレーサビリティの透明性がなければ、市民社会と一般消費者も企業に説明責任を負わせることができません。したがって、これらの原則は、他のすべての改革の基盤として重要になります。このカテゴリーでは、5つの分野の回答を分析しました。

- 直接調達と間接調達の両方に使用されているトレーサビリティの方法
- 協同組合レベルと農園レベルで、それぞれに追跡可能なカカオの割合
- トレーサビリティと透明性のために認証や他の方法（会社独自のプログラムなど）がどのように使用されているか
- 企業の報告書に透明性があるか（企業の調達先である協同組合が公開されているか、児童労働の事例に関する報告がされているか等含む）

生計維持所得：

ほとんどのカカオ農家の収入は1日あたり1ドル未満です。ひどい貧困の中で暮らしている人々は、飢餓、栄養失調、健康危機、そして児童労働を含む他の多くの社会的課題に対してより脆弱です。このほど、ガーナとコートジボワールの両政府は共同で、カカオ農家のひどい貧困問題に対処するために、「生計所得差額 Living Income Differential（カカオ豆最低価格方式）」を設定しました。さらに、開発途上国からカカオなどの商品を取引する業者が人権を侵害せず、農家に公正な料金を支払っていることを証明する認証ラベルであるフェアトレードにより、最低競売価格が引き上げられ、農家への最低所得が保証されるようになりました。まだ実現して

はいませんが、レインフォレスト・アライアンス/UTZ（別のカカオ認証基準）では、さらに良い価格を設定する態勢が整っているようです。しかし、これらの措置はカカオ農家の実際の生計維持所得を確保するための始まりに過ぎません。低価格に潜む多大な苦しみと、現在進行中の重要な改革を考慮し、生計維持所得の問題については大きなカテゴリーを1つ別に設定しました。このカテゴリーについては、以下について分析を行いました。

- 企業に生活収入/賃金に関する方針があるか
- 企業がカカオに支払う価格で農家が生計を立てることができるか
- 企業に農家の生活できるだけの賃金を達成するためのプログラムがあるか。たとえば、収入の多様化プログラム、作物生産高を増やすためのプログラム、そして最も重要なのは、調達先の農家に対し割増金を支払うことを約束しているか、または支払っているか。
- 過去12ヵ月および24ヵ月間の農家世帯収入が増えているか
- 企業が自社のプログラムの影響を測定し、その結果を共有しているか
- 企業がコートジボワールとガーナで決定されたカカオ1トン当たり400ドルという「生計所得差額」の農家支援金を支払っているか

児童労働への取り組み：

約160万人の子どもたちがカカオ農園で働いています。企業の自主的な取り組みにもかかわらず、児童労働はこの10年間で14%増加しました。危険な形態の児童労働に従事する子どもの数も増加しています。こうした子どもたちは未来を奪われ、虐待されています。チョコレートは特にハロウィンのような子ども向けの祝日であれば子どもたちの特別な楽しみであることを考えると、なおさらひどいことに思えます。以下について分析を行いました。

- 企業に「児童労働監視改善システム」（Child Labor Monitoring and Remediation System- CLMRS）と方針があるか。農園の数とCLMRSの対象

となる農園の実際の割合。および、CLMRS の影響が独立して評価されているか。

- 企業の回答が「いいえ」だった場合、代替策はあったか、またなぜ代替策が選択されたのか。
- 児童労働を防止し、改善するためにどのような計画があるか

森林破壊と気候：

カカオは森林破壊の世界的な主要因です。カカオの二大生産国であるガーナとコートジボワールは、過去 50 年間でほとんどの森林を失い、その 3 分の 1 はカカオ栽培によるものでした。両国は、2018 年最も森林破壊が集中した国でした²。しかし、研究調査によると、カカオが育つすべての場所でカカオは森林破壊と結び付いており、その結果、地域気候の変化、降雨量の減少、生物多様性の損失の原因になっています。また一方、企業と生産国の政府は、カカオと森林イニシアチブ（CFI : Cocoa and Forest Initiative）を通じて、合法および非合法を問わず、すべてのカカオによる森林破壊を終わらせることを約束しています。このカテゴリーでは、6 分野の回答を分析しました。

- グローバル調達に適用可能な森林破壊防止のための監視方針が企業にあるか、また森林破壊監視システムを通じてカカオの何パーセントが購入されているか。
- 2010 年と 2017 年以降、それぞれ森林破壊が進んでいる地域から調達されたカカオの割合
- 企業の森林再生の取組
- 企業に CO2 排出量実質ゼロを達成する方針があるか、および科学に基づく目標を設定しているか。

² <https://news.mongabay.com/2019/04/the-world-lost-a-belgium-size-area-of-old-growth-rainforest-in-2018/>

アグロフォレストリー：

カカオは世界的な森林破壊の主要な原因となっていますが、地球を再緑化するためのプラス要因にもなり得ます。アグロフォレストリーとは、カカオを栽培し、農業景観を回復させるための、より環境に配慮した方法を指します。カカオ農園には、一定の在来植生被覆、40%以上の良好な林冠の植生、カカオと相性の良い様々な樹種が必要です³。農薬にまみれの単一栽培とは対照的に、堅牢なアグロフォレストリーのカカオ生産システムは、地球に優しく、炭素隔離、土壌と大気への水分保持、生物多様性に優れており、農家の食料安全保障や収入多様化にも最適です。これは、人々と地球、農家と森林がウィン・ウィンになる構図です。このカテゴリーでは4分野の回答を分析しました。

- 使用されているアグロフォレストリーの定義およびアグロフォレストリーの方針（方針および定義がどのように実施され、監視されているかなど）。
- アグロフォレストリー農法への移行時に、サプライチェーン内の農家に支援が提供されているか。
- 企業にアグロフォレストリーの方針があるか、アグロフォレストリーから100%調達することを目標としているか。
- アグロフォレストリー方針が世界的に適用されているか、または西アフリカ限定か。

化学物質管理：

NORC の最終報告書「コートジボワールとガーナのカカオ栽培地域でのカカオ生産における児童労働削減の進捗状況評価」では⁴、有害な農薬にさらされている児童労働者の数が大幅に増加（10%から 27%）しており、怪我や健康への影響、必要なケ

³ <https://www.voicenetwork.eu/wp-content/uploads/2020/07/200706-Cocoa-Barometer-Agroforestry-Consultation-Paper.pdf>

⁴ <https://www.norc.org/Research/Projects/Pages/assessing-progress-in-reducing-child-labor-in-cocoa-growing-areas-of-c%C3%B4te-d%E2%80%99ivoire-and-ghana.aspx>

アのレベル（入院を含む）も増加していることが明らかになりました。以下について分析を行いました。

- 企業に化学物質管理の方針があるか
- 会社が調達した有機カカオの量